

令和6年度子どものまちづくりイベント  
Mini Mini Midori プラス SDGs

# 実施報告書



横浜市緑区区政推進課



I.事業概要	
事業全体概要 .....	3
II.実行委員募集	
募集概要 .....	4
III.実施実績	
準備期間 .....	5
イベント当日 .....	6
IV.子ども実行委員会記録	
第1回 .....	7
第2回（企業見学会） .....	8～10
第3回 .....	11～13
第4回 .....	14
第5、6回 .....	15
イベント当日 .....	16
第7回（振り返り） .....	17～21
V.イベント当日	
スケジュール .....	22
基本事項 .....	23
各種概要 .....	24～33
全体写真 .....	34～38
VI.製作物	
当日配布パンフレット .....	39
各種印刷物・サイン .....	40～42
VII.アンケート	
大人アンケート結果 .....	43～45
子どもアンケート結果 .....	46～47
VIII.緊急時対応	
緊急時連絡先・指示系統 .....	48
避難誘導に関する基本要領 .....	49
避難経路 .....	50

- 事業名称 令和6年度 子どものまちづくりイベント  
「Mini Mini Midori プラス SDGs」
- 事業目的 子ども実行委員(緑区が募集)が中心となり「子どものまち」を企画し、イベント当日に企画したまちを出現させます。  
「まち」を構想する実行委員とイベントに参加する子どもたちのそれぞれが、イベントを通して経済の仕組みやSDGsを学ぶことができます。  
また、当日参加の保護者にも、実行委員一人ひとりが実行委員会を通して学んできたことをイベント当日に発表し、SDGsを身近に感じてもらいます。  
実行委員には、イベント後も家族や友人、地域にイベントで学んだことを広めてもらう存在になってもらいます。
- 事業内容
- 子ども実行委員の企業等見学  
→中山商店街の企業などが取り組むSDGs等を学ぶ  
→まちづくりに関わる企業の話聞く  
→まちづくりに関わるワークショップに取り組む
  - 子ども実行委員会の実施  
→緑区が公募で集めた実行委員(27名)の会議を実施
  - イベントの実施(子どものまち)  
→子ども実行委員がリーダーを務めるお店(職場)でイベント参加者の子ども(事前申込制)が働いたり、商品を購入したり・サービスを受けるとともに、商品・サービスからSDGsを体感する。
- 主 催 横浜市緑区役所区政推進課
- 運 営 株式会社セレスポ横浜支店
- 運営協力 東洋英和女学院大学
- 協力・協賛 株式会社村田製作所  
フジッコNEWデリカ株式会社 横浜事業部  
株式会社横浜銀行 中山支店  
緑警察署  
相鉄不動産株式会社(企業見学会)  
株式会社オンデザインパートナーズ(企業見学会)

# Ⅱ. 実行委員募集

## □ 子ども実行委員の公募と委員会の概要

項目	内容
実行委員参加資格	小学3年生以上高校3年生まで ※保護者の付添いなしで参加できる子ども
申込方法	・募集告知：緑区内小中学校・高校への告知 ・募集時期：令和6年5月下旬(予定) ・申込方法：区が指定する電子申請による申込
募集人数	30人程度
活動期間・内容	活動期間：令和6年6月～9月 活動内容：・子ども実行委員会への参加 →まちの構想、企業訪問、SDGsの知識を深め、周囲に広める、イベント当日はまちの店舗で店長として活動
子ども実行委員会	開催日：令和6年6月～9月 7回程度開催予定 場所：緑区役所会議室 他 参加費：無料 ※交通費が発生する場合は実行委員の自己負担 開催方法：対面またはオンラインにて

- 応募 69名
- 実行委員決定 30名
- 最終参加者 27名

2023年 イベント当日の様子

### 子どものまちづくりイベント!

# Mini Mini Midori プラス SDGs エキスポ

## 子ども実行委員 募集!!

Mini Mini Midori は、緑区で年に1度だけ開かれる「子どものまち」まちには学校・銀行・お店があり、お店の売り物やサービスは「SDGs」や「脱炭素」につながっているものばかり・・・

まちづくりがSDGsにつながっているなんて、あなたがワクワクしませんか？  
ぜひ、あなたも子ども実行委員になって、子どものまちづくりでSDGsを学んで！体感して！一緒に緑区にSDGsを広げていきましょう!!

**活動期間(予定) | 全7回を予定**

令和6年 **6/30(日) - 8/18(日)**まで

**6/30(日) 午後1時～4時 オリエンテーション**  
**8/18(日) 子どものまちづくり イベント 当日**

※そのほかの日程は別途お知らせします。また、9月頃に夏休み期間を考慮して、予定を変更している可能性があります。

●SDGs-脱炭素につながる取組みについて緑区の大学生と一緒に勉強します。  
●横浜市内の企業・大学等が進めるSDGs-脱炭素の取組みを、見学し・学びます。  
●子どものまちの出店準備として、店舗の備品・サービスがどのSDGsの推進につながるかを考え、備品等を作成します。  
●子ども実行委員の活動を通して勉強してきたことをパネル等にもとめます。  
●イベント当日はお店の「店長」として活躍するとともに、実行委員として活動してきた成果を発表します。

**主催** 横浜市緑区  
**問合せ** 横浜市緑区 区政推進課 企画調整係  
電話：045-930-2228  
MAIL: md-kikoku@city.yokohama.jp

**応募方法**  
緑区に在住または在学の小学3年生以上高校3年生以下の子ども  
30人程度  
令和6年5月24日(金)～6月9日(日)まで  
※交通費などの実費は、各自負担  
無料  
二次元コードより電子申請で申込み  
横浜市電子申請システム

## 申込時の注意事項

- お申込みは表面の二次元コードから、お子さま1人につき1申請をお願いします。
- 申込多数の場合は抽選になります。
- 電子申請では、最後に「申込番号」が出ますので控えてください。受付完了のメールはありません。

### 1 子どものまちづくりイベントについて

- 「子どものまちづくりイベント」とは、ドイツのミュンヘンで行われている「ミニ・ミュンヘン」の緑区版としてスタートした「子どもによる、子どものための、子どもだけのまち」です。
- 「子どものまち」は、子ども主体のまちで、区役所、学校、銀行などのほか、様々なお店が出現し、独自通貨で買い物をする事ができます。また、ジョブセンターで仕事を見つけて働き給料をもらったり、まちで買い物やサービスを楽しむことができ、経済の循環を体験することができます。
- 令和6年度の子どものまちづくりでは、まちで販売する商品やサービスを通して、SDGsの17の目標を知り、体感することができます。
- イベントは、令和6年6月18日(日)に緑公会堂で実施予定です。

### 2 子ども実行委員について

- 活動期間は、6月30日(日)オリエンテーションから8月18日(日)のイベント当日までとしていますが、イベント後に振り返り会を実施予定です(9月頃)。実行委員会の日日程の詳細は別途ご案内します。
- 子ども実行委員の決定のご連絡など、以後のご連絡は全てメールとなります。電子申請の登録メールアドレスは、ご連絡のつく保護者の方のメールアドレスをお願いします。

### 3 全体について

- 大人スタッフは進行管理や相談、サポートを行います。基本的には子どもたちが自分の力で考え、話し、解決することが大切と考えますので、保護者の皆さまには遠く見守っていただければと思います。
- 活動の様子は、ホームページ・広報誌等で紹介します。子ども実行委員の申込時には、お子様の写真、動画(YouTubeを含む)、お名前の使用許諾に対するご同意をいただけることが前提となります。また、子ども実行委員決定後に、写真等掲載承諾書をご提出いただきます。

子どものまちづくりイベント緑区ホームページはこちら▶

### Mini Mini Midori プラス SDGsが目指すもの

緑区では、令和元年度の区制50周年記念事業から、緑区運営方針の基本目標である「次世代にたくましく、みんなにやさしいまち」と「子どもと暮らし」に寄り、次世代を担う青少年の育成として「子どものまちづくりイベント」を実施してきました。本イベントは、まちを体験する実行委員と当日のイベント参加者のそれぞれが、まちづくりや経済の仕組み等を学ぶことができ、毎年9月(パレード)以上の子どもたちが「まちを歩きたい」と思っていたけるイベントとして開催しています。これまでの取組みを大切にしながら、「子どものまちづくり」ISDGs「脱炭素」の3つの要素をもつイベントとして進めていくことで、次世代を担う子どもたちとともにSDGsや環境学習を推進し、緑区全体でSDGs-脱炭素の取組みを進めていくことを目標としています。



横浜で初めて行う万国博覧会  
2027年3月19日～9月26日開催

# Ⅲ. 実施実績

## □ 準備期間

### ● 運営ミーティング

- ① 4/10 (水) 初回打合せ 及び 東洋英和女学院大学打合せ
- ② 4/16 (火) 相鉄不動産打合せ
- ③ 5/10 (金) 第2回打合せ
- ④ 5/14 (火) 緑区内高校 挨拶回り
- ⑤ 5/22 (水) 中山商店街 挨拶回り
- ⑥ 5/29 (水) 東洋英和女学院大学 オリエンテーション (オンライン)
- ⑦ 6/26 (水) 東洋英和女学院大学 打合せ (オンライン)

### ● 子ども実行委員会

回	日時	場所	内容
第1回	6月30日(日) 13:00-16:00	緑区役所会議室	オリエンテーション、SDGs基礎知識の学習、まちについての学習他
第2回	7月 7日(日) 9:30-16:00	中山商店街 緑区役所会議室	①中山商店街SDGsクエスト②南万騎が原「みなまきラボ」(座学) ③ワークショップ ④まちのお店(職業)を検討
第3回	7月15日(月・祝) 13:00-16:00	緑区役所会議室	①第1回、2回の振り返り ②まちのお店(職業)の実施内容検討 ③イベントの実施方法詳細説明
第4回	7月29日(月) 13:00-16:00	緑区役所会議室	①各お店(職業)ごとに実施内容検討 ②発表準備
第5回	8月 5日(月) 13:00-16:00	緑区役所会議室	①各お店(職業)の準備 ②発表の撮影
第6回	8月 8日(月) 13:00-16:00	緑区役所会議室	①各お店(職業)の準備 ②発表の撮影
準備	8月17日(土) 13:00~16:00	緑公会堂	イベント準備
本番	8月18日(日) 8:00~17:00	緑公会堂	イベント本番
第7回	9月 8日(日) 13:00-16:00	緑区役所会議室	①実行委員会振り返り-実行委員会の動画を観賞 ②区長への提案事項検討→区長への提案

# Ⅲ. 実施実績

## □ 8/18 (日) イベント当日

● 実行委員 27名

● イベント参加者

午前の部 (9:30~12:30) 子ども (参加者) 152名

保護者等 128名

午後の部 (13:30~16:30) 子ども (参加者) 109名

保護者等 86名

● 東洋英和女学院大学 14名

## □ 実施構成

● 主 催：横浜市緑区役所区政推進課

● 運 営：株式会社セレスポ横浜支店

● 運営 協力：東洋英和女学院大学 (全体運営協力・ワークショップ、展示)

● 協力・協賛：株式会社村田製作所 (ワークショップ)

フジッコNEWデリカ株式会社 横浜事業部 (ワークショップ)

株式会社横浜銀行 中山支店 (ワークショップ)

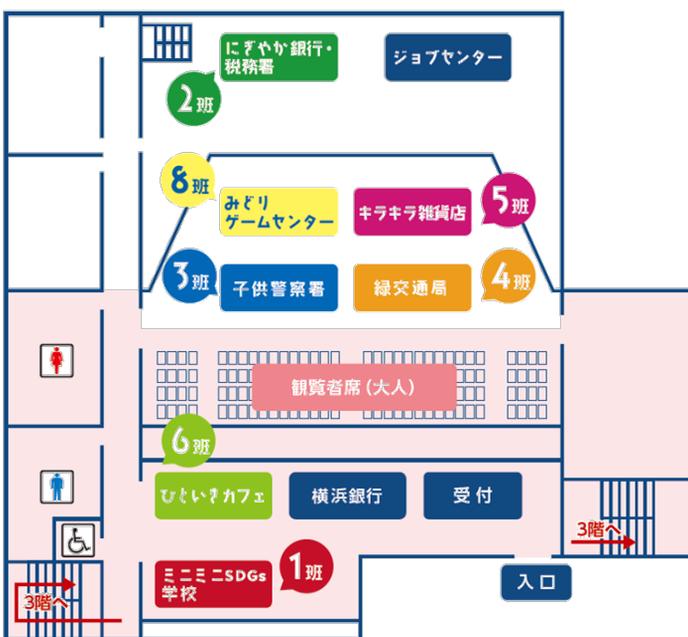
緑警察署 (「警察署」ブース運営補助)

相鉄不動産株式会社 (企業見学会)

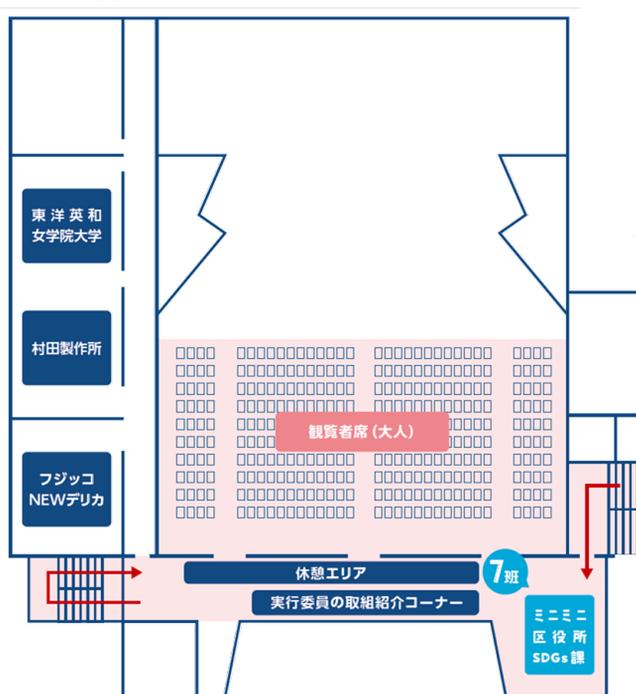
株式会社オンデザインパートナーズ (企業見学会)

## □ 会場配置図

### ● 2階



### ● 3階



※ピンクのアミカケ部分のみ、大人通行可

# IV. 子ども実行委員会記録

【第1回子ども実行委員会 6月30日（日）13:00～16:00 @緑区役所会議室】

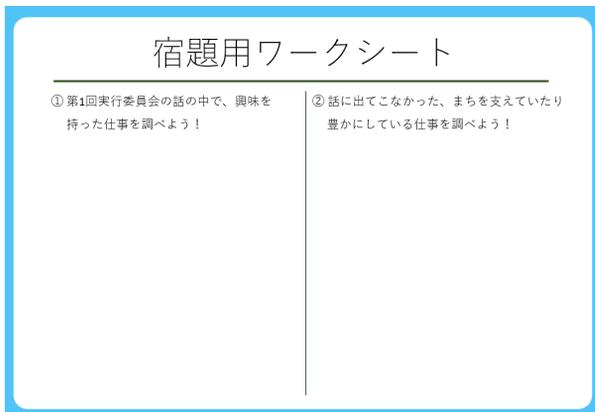
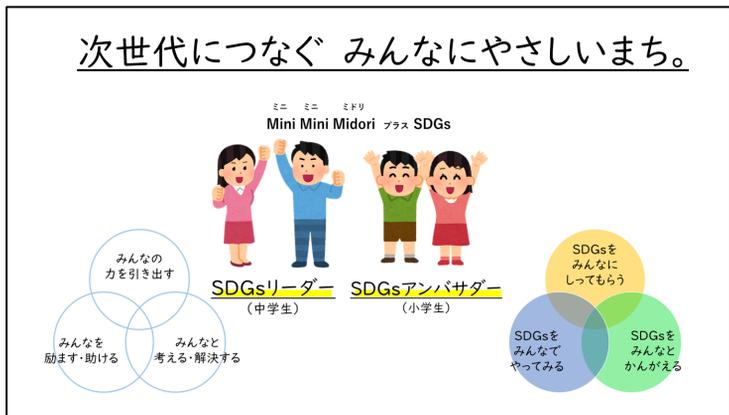
## ■参加者

- 子ども実行委員：24名
- 東洋英和女学院大学学生：10名
- 東洋英和女学院大学教員：1名
- 緑区役所区政推進課：2名
- 株式会社セレスポ 横浜支店：7名

## ■内容

1. 開会あいさつ
2. スタッフ・東洋英和女学院大学学生自己紹介
3. 実行委員自己紹介
4. 導入レクチャー① 目指すゴールの共有
5. 導入レクチャー② 今後の予定を共有
6. まちづくりについて学ぶ
  - ↳ 実行委員が考える「すてきなまち」を発表
7. 東洋英和女学院大学学生による、SDGs概要説明
  - ↳ グループワークでまちにどんな問題があり、それがどのSDGs目標に繋がるのかを考える
8. 宿題の説明（興味を持った仕事について調べてくること）

## ■実行委員会ノートやワークシートの活用



# IV. 子ども実行委員会記録

【第2回子ども実行委員会 7月7日（日）9：30～16：00 企業見学会】

## ■参加者

- 子ども実行委員：午前22名、午後24名
- 東洋英和女学院大学学生：6名
- 東洋英和女学院大学教員：2名
- 緑区役所区政推進課：2名
- 株式会社セレスポ 横浜支店：7名

## ■内容

1. 商店街クエスト詳細説明
2. グループワーク
  - ↳自己紹介、役割決め、お店の情報から質問事項を考える
3. 商店街クエスト
  - ↳6チームに分かれて、中山商店街のお店を訪問し、各店舗のSDGsの取組についてインタビューをする
4. クエスト内容の発表
  - ↳インタビューをしてきた内容をチームごとに発表
5. 相鉄不動産による座学
  - ↳南万騎が原で実際に行っているまちづくりについて学ぶ
6. オンデザインパートナーズによるワークショップ
  - ↳言葉の組み合わせから発想した理想のまちを、工作を用いて可視化する
7. 職業の考察
  - ↳ここまで学んできた内容を踏まえて、イベント当日にやりたい職業候補をあげる
8. 振り返り
  - ↳企業見学会の感想を言語化する

## ■実行委員会ノートの活用

クエストをするお店			
グループ	お店	お話ししてくれる方	どんなお店
A・B	三好種苗 (みよししゅびょう)	三好(みよし)さん	タネや種、花、農薬用品やまちの野菜などを売っている
	大氣耳鼻咽喉科 (おおきびいんこうか)	大氣(おおき)さん	耳、鼻、のどの診療(しんまつ)をしながら、まちの人の健康(けんこう)をまもる
C・D	中山パテイング センター	梶原(かいばら)さん	パテイングやゲームなどができ、まちの人があつまるところがある
	奥宮院みるエール (おくみやいんみるエール)	武田(たけだ)さん	髪を切ったり、人と環境にやさしい髪のアフター
E・F	Tama cafe (タマカフェ)	川口(かわぐち)さん	いろいろな人がシェアしてお酒をつかうことができる
	メガネのなかわら	中村(なかわら)さん	まちの人や環境のことを考えてメガネを売っている
	ツルハンドラッグ	鈴木(すずき)さん	まちの人や環境のことを考えて服を売っている



# IV. 子ども実行委員会記録

## ■ 商店街クエストで発見したSDGs一覧

### 中山商店街 SDGs クエスト MAP

今年の Mini Mini Midori では、子ども実行委員が「子どものまち」を企画するにあたり、まずは身近なまちの状況やSDGsにおける取組を学びました。  
 「SDGsクエスト」と称し、中山商店街にある商店をグループごとに回り、お店の取組について子どもたちが自らインタビューしました。  
 その結果、各商店から様々なSDGsへの取組のお話を伺うことができました！  
 このMAPは、子どもたちがクエストをしてきた中山商店街のSDGsを可視化したものです。  
 今回のクエストをしなければ知らなかった情報も沢山あると思いますので、是非ご覧ください。

**中山パティンセンター**  
 SDGsにつながる取組  
 ・蛍光灯がLED照明に変えて、電気を使わないようにしている  
 ・スポーツをすることで健康的な生活を営める  
 ・幅広い世代に楽しく遊んでもらえるようパティンセンターをやっている

**美容室ルミエール**  
 SDGsにつながる取組  
 ・ヘアドネーションを行っている  
 ・オリジナルシャンプーを使用し、体にも環境にも配慮している  
 ・相手の話をよく聞いて、差別のないカットを心がけている

**大氣耳鼻咽喉科**  
 SDGsにつながる取組  
 ・いるいるなでも受け入れている  
 ・健康を守るために、歩いたり、ご飯を沢山食べている  
 ・女性が沢山働いている

**三好種苗**  
 SDGsにつながる取組  
 ・枯れた花を堆肥にしている  
 ・地域とイベントや農業などで関わっている  
 ・植物をからさない

**メガネのなかむら**  
 SDGsにつながる取組  
 ・リサイクル素材を使ったメガネを販売している  
 ・メガネを直すサービスをしている  
 ・メガネを回収し、レンズを売ってタイに送り、1日1000人に無料配布している

**ツルハドラッグ**  
 SDGsにつながる取組  
 ・賞味期限1年前のものは、半額にして販売している  
 ・レジ袋はバイオマスという素材を使い環境に配慮している  
 ・電気をLEDにしている

**Tama cafe**  
 SDGsにつながる取組  
 ・食べきれない人は持って帰れるようにしている  
 ・近所から野菜を提供してもらっている  
 ・なるべくごみがでないようにしている

## ■ 南万騎が原のまちづくり学習資料

### 2. まちづくりで考えたこと SDGsなまちづくり

「住み続けられるまちづくり」って？  
 高い者が住まい、活やくし、若い人たちが住みかくなるまち。

SDGs 11 住み続けられるまちづくり

### 4. みなまきラボについて① みなまきラボって？

●みなまきラボ = みなまき（南万騎が原）+ ラボ（けんきゅう室・じっけん場）

地域のみなさん  
 ・あそびや学びながら暮らしを豊かに  
 ・暮らしの困りごとを解決  
 ・暮らしの困りごとを解決  
 ・暮らしの困りごとを解決  
 ・暮らしの困りごとを解決

みなまきラボ minamaki lab

みなまきのまち  
 南万騎が原  
 南万騎が原  
 南万騎が原

みなまきラボ  
 南万騎が原  
 南万騎が原  
 南万騎が原

### 2. まちづくりで考えたこと SDGsなまちづくり～南万騎が原の場合～

SDGs 11 住み続けられるまちづくり

### 4. みなまきラボについて② みなまきラボでの活動

**みなまきピクニック**  
 「みなまきピクニック」とは、南万騎が原を元気にする「ステキ」が楽しめるマルシェ。  
 露店やブースがあり、かわいいお揃いグッズもあり、楽しいワークショップもあり、地域のイベントです。

**地いきのぼうせい**  
 春と秋のぼうせい両方のメンテナンスをしたり、ぼうせいイベントを開いています。ぼうせい用具の「ぼうせいかまど」で、たき出しをしたりしています。

SDGs 11 住み続けられるまちづくり

### ＊ひろばのプレートについて

「みなまきの広場をみんなでつくりたい」ワークショップ  
 思いのたけと子どもたちの思いが、まち歩きを促しました。子どもたちは様々な理由、これまで知らなかった場所を、プレートを作りました。

SDGs 11 住み続けられるまちづくり

### 4. みなまきラボについて③ 活動のようす

●キッズ学習教室（月例）  
 ●おんこりブックス（月例）  
 ●おんこりブックス（月例）  
 ●おんこりブックス（月例）

地いき住民の方たちの特色、しゅみなどをつきかけに、つながりをはぐくむ取り組み。  
 （男女問わず、小さい子供から高齢いまで、たくさん参加されています）

SDGs 11 住み続けられるまちづくり

# IV. 子ども実行委員会記録

## ■理想のまちワークショップの資料

ワークショップのテーマ

コトバからまちの新しい役割を創り出そう！

STEP3 まちをつくってみよう！

たてものをつくる

1. 半分に折る 2. やねの形をつくる 3. まどの形をつくる

まどをつくる

「まど」カード + 「たてもの」 = 時間があったら「ひろば」もつくってみよう！

かんばん  
看板をつくる

「知る」、「教える」チームの看板  
「見る」、「知る」チームの看板  
「遊ぶ」、「たべる」チームの看板

STEP2 住みたいまちを考えてみよう

役割を考える

好きな○○	好きな○○	好きな○○	好きな○○	好きな○○	好きな○○
×	×	×	×	×	×
あそぶ	たべる	見る	ねる	知る	教える

場所を考える

「好きなもの」や「まちでしたいこと」をだれと？ どこで？ どんなふうに！と問いかけて考えてみよう

STEP4 みんなのまちを見てみよう

たてものをならべる

つくった「たてもの」を並べよう

看板を「アイデア」カードに貼る

まちの「いいね」を見つける

「いいね」と思ったところを人に見せよう

## ■実行委員が作成したまちの様子



# IV. 子ども実行委員会記録

【第3回子ども実行委員会 7月15日（月・祝） 13：00～16：00 @緑区役所会議室】

## ■参加者

- 子ども実行委員：24名
- 東洋英和女学院大学教員：2名
- 緑区役所区政推進課：2名
- 株式会社セレスポ 横浜支店：8名

## ■内容

1. 第1回・第2回の振り返り

2. 各職業のメンバー決定

└第2回で取った希望を基に職業を決め、メンバーを構成した  
〈選定された職業一覧〉

- 1班 学校
- 2班 銀行・税務署
- 3班 警察署
- 4班 交通局
- 5班 雑貨店
- 6班 飲食店
- 7班 区役所
- 8班 ゲームセンター

### 職業を決めよう！

支える仕事

公共  
(こうむいん)

警察署

役所

銀行

税務署

学校

豊かにする仕事

お店

ゲームセンター

車両系

飲食系

雑貨系

12

3. 各職業の目的の明確化

└STEP 1 その職業がなぜまちに必要なのか

STEP 2 その職業がどのSDGs目標の達成に繋がっているのか

STEP 3 目標達成のために何に取り組むのか

上記の3 STEPに沿って、目的を明確化

4. 職業内容の検討

└まちの基本ルール、税金や物価の考え方を説明した後に、  
サービスや商品の内容を検討

### 税金とは



税金は、豊かで安全な社会をつくるためには  
なくてはならないものなのです。

税金=まちを支えるために集めるお金

集まった税金を使ってまちをより良くする方法を考える

30

### 職業の商品や内容の決定

- ① サービスの内容、商品の種類
- ② 各サービス・商品の数
- ③ 各サービス・商品の単価
- ④ 制作に必要な物品



33

# IV. 子ども実行委員会記録

## ■店舗ごとの「お店がまちに必要な理由」と「SDGsの目標」について

子どものまちづくりイベント! **Mini Mini Midori** **SDGs**

1 班

ミニミニSDGs 学校

① 私たちのお店がまちに必要な理由  
しょうらの生活のため一人々が勉強しおたがいが成長し合うために必要

② 私たちのお店がどのSDGs目標の達成につながっているか  
4. 質の高い教育をみんなに  
3. すべての人に健康と福祉を

③ 「②」のために取り組むこと  
SDGsをみんなに伝えて意識をかえる!

子どものまちづくりイベント! **Mini Mini Midori** **SDGs**

2 班

にぎわか金貯行・せいむしよ

① 私たちのお店がまちに必要な理由  
生活をやるのに大事なお金をあずける場所だから

② 私たちのお店がどのSDGs目標の達成につながっているか  
金貯行...ひんごん口、けいざり成長  
せいむしよ...健康、水、土、ま

③ 「②」のために取り組むこと  
きちんとお系合料をわたす  
もらったお金をかんりする  
よい見本をみせる

子どものまちづくりイベント! **Mini Mini Midori** **SDGs**

3 班

子供警察署

① 私たちのお店がまちに必要な理由  
県や国の平和を守るために  
悪い人を捕まえる、困っている人を助ける

② 私たちのお店がどのSDGs目標の達成につながっているか  
10 → 不平等があると平和を守れない  
11 → まちづくり平和含まれてる  
16 → 誰か一人ではなく皆が平和

③ 「②」のために取り組むこと  
・パトロール  
・ゴミ拾い  
・落とし物  
・迷子を預る

子どものまちづくりイベント! **Mini Mini Midori** **SDGs**

4 班

糸緑交通局

① 私たちのお店がまちに必要な理由  
町と町をつなぐため  
車を持っていない人もどうできるんだから  
みんなのいい道にベトリにするから!

② 私たちのお店がどのSDGs目標の達成につながっているか  
7 電気、水、ハイブリッドバスの増化  
8 馬車バス停の増化  
9 貨物あげいざいせきく 支那物を作りおんになる  
11 回生ブレーキが 電気の再利用 など

③ 「②」のために取り組むこと  
なすべしやないざいせきくで、車を作作り、  
よい木をかつようする  
人が引いて、電気を使わない。

# IV. 子ども実行委員会記録

子どものまちづくりイベント!  
Mini Mini Midori  
SDGs

5 班

キラキラ雑貨店

① 私たちのお店がまちに必要な理由  
町の人々がほしいと思ったものを売ったり、アクセサリーを身につけたりして、  
みんなをえがおにするため

② 私たちのお店がどのSDGs目標の達成につながっているか  
10 多くの人が便利なものを出して不平等をなくす。  
14 5 不用になったもの(水・プラスチック)を回収する。

③ 「②」のために取り組むこと  
10 回収して売られるものを売る。  
14 5 不用になったもの(水・プラスチック)を作った雑貨をつくる。

子どものまちづくりイベント!  
Mini Mini Midori  
SDGs

6 班

ひといきカフェ

① 私たちのお店がまちに必要な理由  
ラクにごはんや飲み物が食べれる。  
手間がはぶける。

② 私たちのお店がどのSDGs目標の達成につながっているか  
13 ホイ捨てしない・リサイクル 14 自然・環境  
12 のこさない・かきょう 6 健康・福祉  
17 スーパーや農家との協力 3

③ 「②」のために取り組むこと  
リサイクル→食べ物、スプーン、フォークを出す。  
いせいに気を付ける。  
余った物をもらう。  
食べきれぬ量。

子どものまちづくりイベント!  
Mini Mini Midori  
SDGs

7 班

区役所

① 私たちのお店がまちに必要な理由  
住所の管理  
個人情報の管理  
ゴミ収集車でのゴミの収集  
区のPR  
街を保っている。

② 私たちのお店がどのSDGs目標の達成につながっているか  
10 人や国の不平等をなくそう。  
11 住み続けられるまちづくりを。

③ 「②」のために取り組むこと  
上下なく過ごせる街を作る

子どものまちづくりイベント!  
Mini Mini Midori  
SDGs

8 班

みどりゲームセンター

① 私たちのお店がまちに必要な理由  
ストレスが減る。  
みんなが楽しめる。  
おにねて

② 私たちのお店がどのSDGs目標の達成につながっているか  
8 働きがいも経済成長も。 → SDGs!!  
10 人や国の不平等をなくそう。 → SDGs!!  
11 住み続けられるまちづくりを。 → SDGs!!

③ 「②」のために取り組むこと  
安くして客を増やす。  
100年寿命により、健康長寿を促す。

# IV. 子ども実行委員会記録

【第4回子ども実行委員会 7月29日（月） 13：00～16：00 @緑区役所会議室】

## ■参加者

- 子ども実行委員：24名
- 東洋英和女学院大学教員：1名
- 緑区役所区政推進課：2名
- 株式会社セレスポ 横浜支店：7名

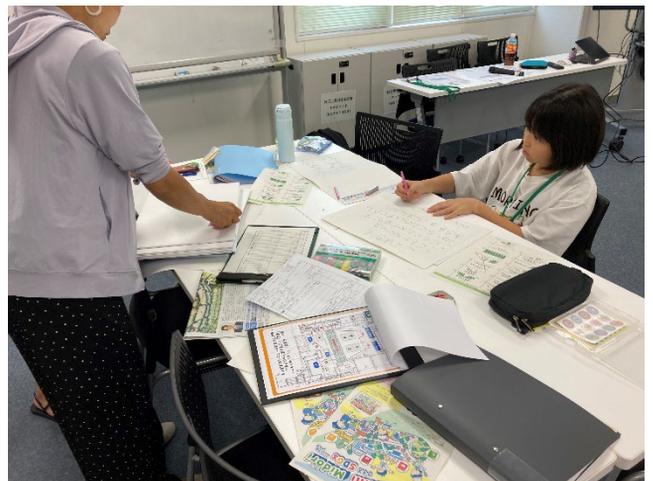
## ■内容

1. 第3回の振り返り
2. 各職業の目的発表会の準備
3. 各職業のブース配置の決定
4. 職業内容の検討（前回の続き）
5. 職業ごとに必要なものを製作

### ■6班 メニュー表の作成



### ■1班 まちのルール説明用紙の作成



### ■5班 うちわの作成



### ■8班 必要材料の検討



# IV. 子ども実行委員会記録

【第5回子ども実行委員会 8月5日（月） 13：00～16：00 @緑区役所会議室】

## ■参加者

- 子ども実行委員：18名
- 東洋英和女学院大学学生：15名
- 東洋英和女学院大学教員：1名
- 緑区役所区政推進課：2名
- 株式会社セレスポ 横浜支店：7名

## ■内容

1. 各職業ごとに職業の目的を発表・撮影
2. 職業ごとに必要なものの製作（前回の続き）

【第6回子ども実行委員会 8月8日（木） 13：00～16：00 @緑区役所会議室】

## ■参加者

- 子ども実行委員：18名
- 東洋英和女学院大学学生：15名
- 東洋英和女学院大学教員：1名
- 緑区役所区政推進課：3名
- 株式会社セレスポ 横浜支店：7名

## ■内容

1. 各職業ごとに職業の目的を発表・撮影（前回撮影出来なかった班）
2. 職業ごとに必要なものの製作（前回の続き）

## ■撮影の様子



※撮影した動画は、イベント当日に放映

# IV. 子ども実行委員会記録

## □ イベント当日の売上実績

### 班別売上実績 (ミ \$)

班名	午前	午後	合計
4班 緑交通局	59	203	262
5班 キラキラ雑貨店	1263	2039	3302
6班 ひといきカフェ	4244	6096	10340
8班 みどりゲームセンター	3434	4095	7529
フジッコNEWデリカ	378	午後は無料	378
村田製作所	459		459
東洋英和女学院大学	463		463
横浜銀行	432		432

## □ 売上管理表

うりあげかんりひょう 売上管理表				
6 はん お店のなまえ <u>ひといきカフェ</u>				
しょうひんのなまえ 商品の名前	じゅんぴんがず 準備した数	ねだん 値段	うれたかず 売れた数 (正の字で書く)	ごうけい 合計
カルピス	24	30	正正正正下	720
ミルクティー	24	30	正正正正下	720
ココ	11	25	正正下	275
エロ	12	25	正正	275
チョコ	31	5	正正正正正一	155
クッキー	30	10	正正正正正一	300
カルピス	50	5	正正正正正正正	250
114227-2	29	15	正正正正下	435
あめ	339	3	正正正正正正正正正	1017
かみ	94	5	正正正正正正正	470
くじ	39	5	正正正正正	195
お菓	40	10	正正正正正一	400
うれたごうけいまんがく 売れた合計金額			<del>4702</del> 4715	
ごうけいの10% 合計の10%			471.5	
のこりのみだる 残りのミ\$			4244 = 5	

-人: 1061 = \$

うりあげかんりひょう 売上管理表				
8 はん お店のなまえ <u>みどりゲームセンター</u>				
しょうひんのなまえ 商品の名前	じゅんぴんがず 準備した数	ねだん 値段	うれたかず 売れた数 (正の字で書く)	ごうけい 合計
ガチャガチャ		10	正正正正正正正正	
おかしり		15	正正正	
7Pミコン		30	正正	
くじ		10	正正正正正正正正正正	
射的		15	正正正正正正正正	
うれたごうけいまんがく 売れた合計金額			3815	
ごうけいの10% 合計の10%			381.5	
のこりのみだる 残りのミ\$			3434	

# IV. 子ども実行委員会記録

【第7回子ども実行委員会 9月8日（日）13:00～16:00 @緑区役所会議室】

## ■参加者

- 子ども実行委員：20名
- 東洋英和女学院大学学生：4名
- 東洋英和女学院大学教員：1名
- 緑区役所区政推進課：3名
- 株式会社セレスポ 横浜支店：9名

## ■内容

1. 実行委員の記録動画鑑賞
2. 職業別グループワーク
  - ↳グループワーク：イベントの振り返り（感想など）
  - ↳個人ワーク：「発表シート」に書いたSDGs目標に貢献できたかを考える
  - ↳グループワーク：班で共有
3. グループワーク内容発表
4. 未来の緑区について考える
  - ↳年齢別でチームに分かれ、緑区をより良くするための提案を考える
5. 緑区長への提案（班ごと）、SDGsリーダー・アンバサダーバッジの付与
6. 緑区長から全体総括・写真撮影
7. 緑区役所及び東洋英和女学院大学准教授より総評

## □職業別グループワーク発表内容

### ●1班：学校

- ①アルバイトのこと仲良くできた
- ②バイトの仕事があまりなくて遊んでる子が多かった、忘れ物が多かった、
- ③もっと人が来るように呼び掛ける、景品を飴などにしたい、もっとスムーズに進めるために役割を決める

### ●2班：銀行

- ①机にお金が散らばっていた
- ②お金の管理方法を考える、お金を減らす

### ●3班：警察

- ①落とし物の放送がうまくできた
- ②多すぎて積極的にかかわれなかった
- ③アルバイトを増やすこと



## IV. 子ども実行委員会記録

### ● 4班：車両

- ① 思ったよりミドルを稼げた、路線図が売れた、アルバイトが楽しんでくれた、記念に切符や路線図を買ってくれた
- ② 利用者が少なかった、アルバイト、車掌と運転手を分けたからうまく回らなかった
- ③ 車両の強度を高める、モノを運ぶとかの仕事にする

### ● 5班：雑貨店

- ① ラキュー（パズル）を無料で届けた、みんなを笑顔にできた
- ② アルバイトがいっぱい来たから説明ができなかった
- ③ ワークショップもアルバイトも、それぞれまとめて教える、商品をもっと作ればよかった

### ● 6班：飲食店

- ① たくさん来てくれた、売れた
- ② 商品が足りなかった、売り上げの計算
- ③ お金を入れる箱を作る、健康なものを出す

### ● 7班：区役所

- ① ミドリンの工作ができた
- ② 印鑑証明の手数料に3ミドルをもらっていたけど紙にハンコを押すだけだったからもっと内容を変えたらよかった

### ● 8班：ゲームセンター

- ① 時間の管理
- ② ファミコンが混んでいたのが工夫したい

### ● 東洋英和女学院大学

- ① みんなそれぞれ違う仕事で、楽しそうだった
- ② 初日からは考えられないくらい協力していたり、自分とも話してくれり買ったお菓子をくれたり心が温まった
- ③ 子どもたちと話し合いを重ねて作り上げる貴重な機会だった。  
自分が考えつかないようなアイデアもあって子供ならではの発想を大人の力を借りて実現していて素敵だった。
- ④ SDGsを学びながら子供たち主体で最後までできてすごかった。  
自分のころはSDGsという言葉も知らなかったからいいなと思った。  
大変なことにも臨機応変に対応していて、すごいなと思った。

# IV. 子ども実行委員会記録

## □緑区長への提案内容

TEAM 5年生～中学生：3チーム

TEAM 3年生・4年生：2チーム

### STEP 1

しょうらい みどりく

将来どんな緑区になってほしいか

- ・キレイな町
- ・大人もことども安心な町
- ・スポーツができる公園をふやしてほしい
- ・交通をはたつさせる(無米斗えきをふやす)

### STEP 2

なに ひつよう

そのために何が必要か

SDGs目標の17のパートナーシップ  
区役所だけでなく他のお店や会社とも  
コミュニケーションをとって協力することで  
実現できることがふえる

### STEP 3

そのために自分たちは、  
どんなことができるか、  
やりたいか

- ・電車やバスをせまきく的に利用
- ・ごまめにゴミ拾いする
- ・ルールを守る
- ・大切に使う

チームA 齊下 金令木 加藤 栗井

### STEP 1

しょうらい みどりく

将来どんな緑区になってほしいか

- 1 どんな人でもくらしやすい町 6べりな町
- 2 かんきょうにやさしい町
- 3 自然が いいばいの町
- 4 安全な町
- 5 みんなが協力してる町

### STEP 2

なに ひつよう

そのために何が必要か

- 1 スロープ(車いす・ベビーカー) 4 観察たんさん  
ケアアラサ 横断歩道をわたるようにはびりける  
ほやされた道 見通しの悪い所をなくす  
公共の場所をふやす かたがた道をなくす  
小こい子をあすけられるして 暗い所をライント  
適学路のみまもり
  - 2 リサイクル 5 植木ほいこうとよびかける  
まちのルールをつくる 換気扇をバネをつくる  
分別をすることを法律にする 6 スロープをふや多くつくる  
7 プラスチックせいのんをふやす (バネ院)
- (1)サイクルでできるアラスナを作る → 先に17-アラスナ、72、100 = 201120

### STEP 3

そのために自分たちは、  
どんなことができるか、  
やりたいか

- 1 ぼん 不自由な人を助けける
- 2 マイはし、エコバックをつかう  
マイストロー、マイボトル
- 3 花い、ほいばい活動に参加する
- 4 自分も家族も悪いことしないように  
危険にあわないように注意する
- 5 自分たちも協力する
- 6 区長に言う

チームB 長屋 高橋 石井 久國 井手

# IV. 子ども実行委員会記録

## STEP 1

しょうらい みどりく

将来どんな緑区になってほしいか

ポイ捨てのないキレイな街  
だれもがすみやすい街をつくる

## STEP 2

なに ひつよう

そのために何が必要か

街のゴミ箱を増やす。

分別のしやすいゴミ箱

街の景観をこわさないゴミ箱

街のお店などに1〜2しるいくらの

言語を書く

## STEP 3

そのために自分たちは、

どんなことができるか、

やりたいか

デザインを考える。

ゴミ箱におおくなるような

アイデアを出す。

チームC 橋本、太田、今井、渡邊、張谷

## STEP 1

わたしたちがつなく やさしいまち

・さべっかがなく みんながわらって

すごせる平和な町!!

## STEP 2

そのために自分たちは、

どんなことができるか、

やりたいか

・交通ルールを守る。

・ポイ捨てをしない。

・思いやりをもつ。

チームD 工藤、山本、山本、山本、菊地、ハリカ

# IV. 子ども実行委員会記録

## STEP 1

わたしたちがつながる やさしいまち

- ①子ども達にとってやさしい街  
遊ぶ所が沢山ある街
- ②おいしいおばあちゃんにして住みやすい街  
多分ホームをよす  
手札を付ける。
- ③みんなにとってやさしい街  
運動する場所をよす  
有り英館ういっはいの街

## STEP 2

そのために自分たちは、  
どんなことができるか、  
やりたいか、してほしいこと

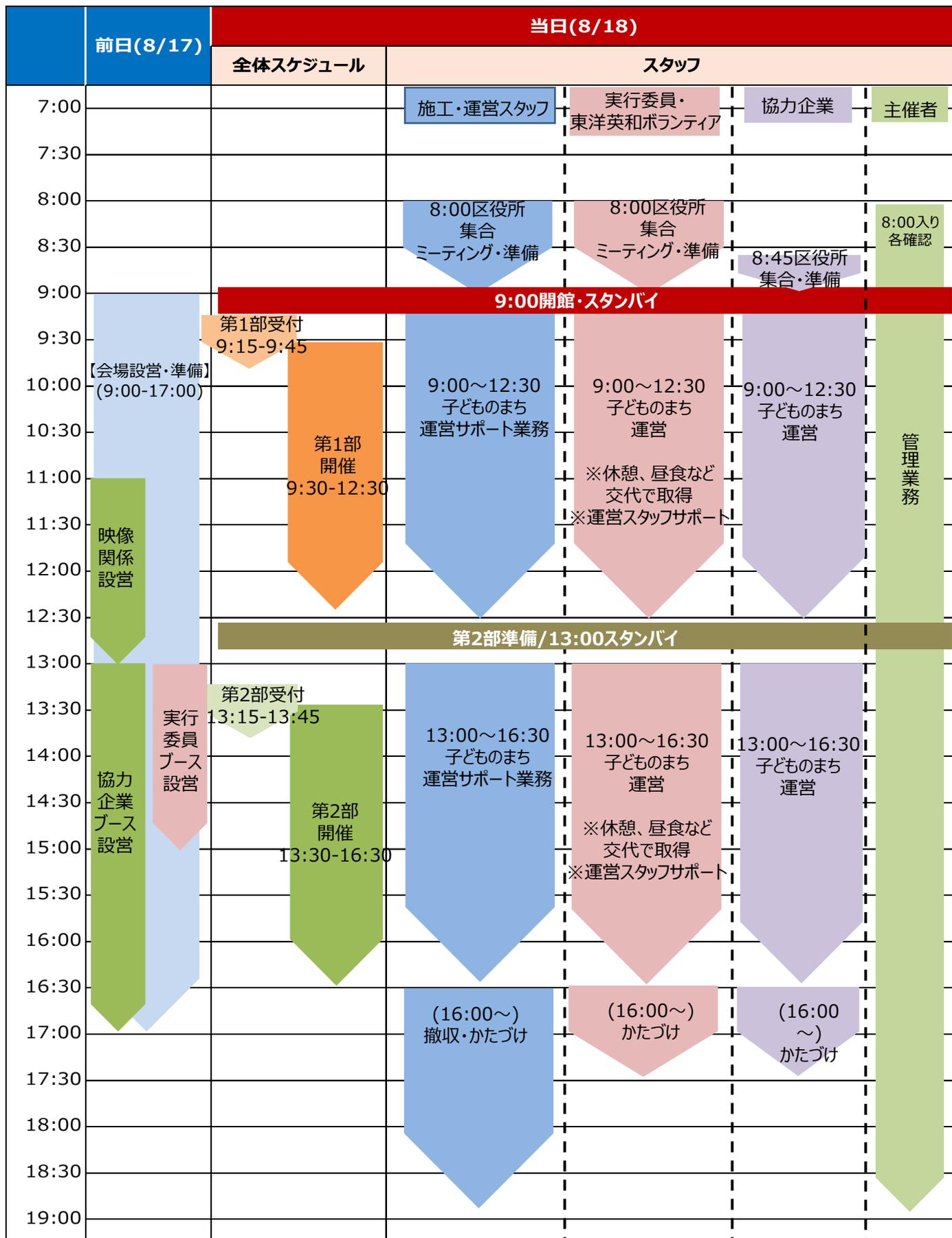
- ①木片金を使う木を使った公園を作る。
- ②空地を使う  
(建設に税金を使う)若い人が協力する。
- ③自然の運動カキ場を使う。  
有り英館うをよすための行動し、自決いしきする。

チームE 実行 プラザン 春太



# V. イベント当日

## □スケジュール



# V. イベント当日

## □ イベント参加の流れ及び基本事項

参加者	行動
① 受付	・公会堂 2 階ホワイエの受付で、 <b>参加費(300円)</b> を支払い <b>区民証と50ミ\$</b> を受け取る



② 学校で まちなちの仕組 みを学ぶ	・公会堂 2 階ホワイエの <b>学校</b> で、 「子どものまち」の仕組みを学ぶ
--------------------------	---



③ 銀行・税 務署へ行き、 納税する	・ホール内の <b>銀行・税務署</b> へ行き、 <b>区民税10ミ\$</b> を納税する ※区民税の納税をしなければ、ま ちで遊ぶことが出来ない
--------------------------	--



④ ジョブセン ターへ行き、 仕事を探す	・ホール内の <b>ジョブセンター</b> へ行き、 仕事を探してその職場の <b>ジョブス トラップ</b> を受け取る ・もしくは残った <b>40ミ\$</b> で遊ぶ
----------------------------	---



⑤ こどものま ちのお店(職 場)で働く	就業先の職場で、こども実行委員 (店長)の指示のもと働く ※ <b>1つの仕事は15分~30分間</b>
----------------------------	--



⑥ 銀行で給 料をもらう	・ホール内の <b>銀行</b> へ行き、給料を 受け取る ※ <b>ジョブストラップ</b> は銀行付近の BOXへ返す
-----------------	--



⑦ ミドルを使って子どものまちで遊んだりショッピング	
----------------------------	--

・各お店(職場)は子ども実行委員が運営する。  
・勤務終了後は、区民証の裏にある**ジョブカード**に給料を記入する(実行委員が)

・アルバイトは給料に対して**10%の所得税**が天引きされる  
※**所得税の記載は税務署にて行う**

・開催時間中は**④~⑦**を繰り返し行える

・午前の営業終了後、各店舗は**法人税**として、売上げの**10%**を税務署へ納税する  
※午後は納税の必要なしの予定



**■ 募集概要**

- ・「職場」や協力企業、大学ブースでアルバイト募集を行う。
- ・所定のフォーマットはありませんので、自由にデザインした求人チラシを作ってください。  
以下の「求人チラシ作成概要」を参考にしてください。
- ・求人チラシはイベント当日ジョブセンターに持ってきてください。
- ・終了した求人はジョブセンターへ速やかに連絡してください。

**■ 求人チラシ作成概要****【用紙仕様と記載方法】**

- ・A4サイズ（縦）※複数可
- ・所定のフォーマットはないので、デザインなどは自由に作成してください。
- ・用紙の色も自由ですが、分かりやすいようはっきり大きく記載してください。  
また、難しい漢字には読み仮名を振ってください。
- ・イラストをデザインしても構いません。

**【募集記載要件】**

- ①職場名またはブース名
- ②対象年齢（もしあれば）
- ③アルバイト時間（20分程度）と内容および募集人数
- ④アルバイト給料（20分で20ミ\$がまちのベースです）

**■ その他のアルバイトルール**

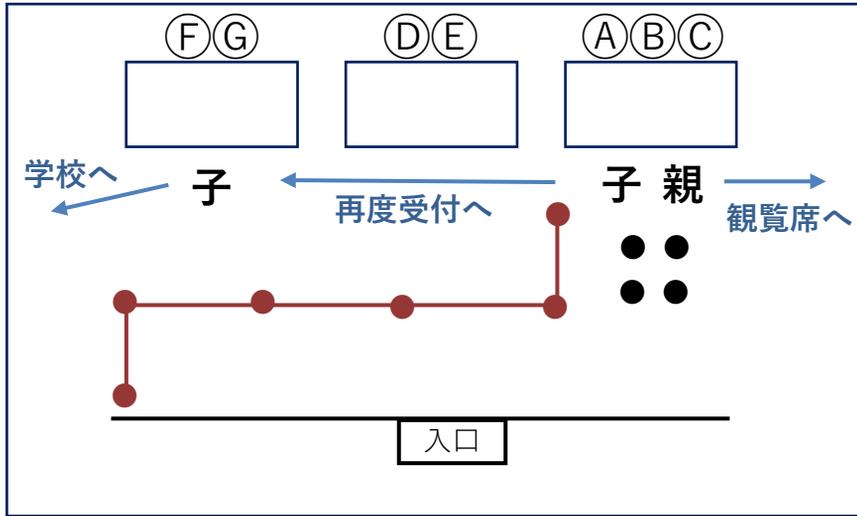
- ・アルバイトの時間は20分程度。
- ・アルバイトの給料は20分で20ミ\$をベースとして考えてください。  
また、キリの良い数字にしてください（例：10ミ\$、20ミ\$、30ミ\$ etc…）
- ・アルバイトの作業での危険な作業行為は禁止です。
  - 熱のあるもの（臭気を伴うもの）
  - 刃を伴うもの
  - 尖ったもの
  - 長時間の立ち仕事や体力を消費させるもの
  - 20分間の単純作業や体温変化をきたすものなど

※求人内容によりアルバイト内容の変更を相談する場合がありますのでご了承下さい。

## ■受付（1部 9：15～9：45、2部13：15～13：45）

### □配置

### 受付



(A)(B)(C)：区役所職員

(D)(E)：セレスポ

(F)(G)：スタッフ

●—●：ベルパ

### □手順

#### ①事前申し込み名簿リストと照合

②大人の方にチラシ（A3,2つ折り）を、  
また入場希望の大人のみリストバンドを渡す

(A)(B)(C)

#### ③参加費の徴収

子ども1名参加につき、300円の参加費を徴収する  
参加費を徴収した人数は、カウンターで数える  
※領収書等の発行はなし

#### ④区民証と50ミ\$のお渡し

参加者（子ども）に対し、「区民証」と  
区民証にセットされた初期資金50ミ\$をお渡りする。  
※区民証の裏はジョブカード

(D)(E)

(F)(G)

#### ⑤チラシのお渡しと説明

参加者（子ども）に対し、チラシ（A3、2つ折り）をお渡りする。  
チラシの裏面を見せながら、次の2点を伝える。

- ①学校が終わったら、銀行・税務署へ向う
- ②（小学校低学年などの小さい子に対して）  
分かりやすい地図は3階の区役所でもらえる

#### ⑥受付後の移動先

参加者（子ども）→隣接する「学校」で待機  
保護者（大人）→観覧席へ移動（2階もしくは3階からも進入可能）

**■ 概要**

参加者（子ども）に対し、イベントの楽しみ方をフリップを使用し説明する。  
説明が一通り終わった後は、参加者（子ども）の休憩所となる。  
学校でのコンテンツとして、SDGsクイズラリーも開催する。

**■ 人員体制**

子ども実行委員・・・3名  
東洋英和ボランティア・・・午前2名、午後1名

**■ 業務内容**

- 「子どものまち」の説明
  - ・20名程度の参加者（子ども）が集まったら、フリップを使用して、まちのルールを説明する。
  - フリップは2式あるので、2カ所に分かれて実施。  
※受付時間中は、「6班 カフェ」の場所を借りる
  
- 休憩所の運営
  - ・トランプなどのカードゲームを用いて、休憩場所を運営する。
  
- SDGsクイズラリーの実施
  - ・「子どものまち」内にある職場は、どんなSDGs目標と関係しているかを見つけてくるというルール。
  - ・見つけた数により、もらえるシールの大きさが変わる。

## ■ 概要

税金の徴収とアルバイト代のお支払いを行う。

## ■ 人員体制

子ども実行委員・・・4名

東洋英和ボランティア・・・1名

## ■ 業務内容

### □ 税金の徴収

- ・区民税：入場時に、1人10ミ\$ 徴収する。  
徴収したら、区民証にハンコをおす。
- ・所得税：アルバイト代の支払い時に、アルバイト代から10%の所得税を徴収する。  
その際、ジョブカードに納税額を記載し、確認欄にチェックを入れる。
- ・法人税：午前終了時に、売り上げのせている店舗から、売上額の10%を収めてもらう  
売上額と法人税額は紙に記載して管理する。

### □ アルバイト代の支払い

- ・区民証の裏のジョブカードに記載してあるアルバイト代から10%引いた額を支払う。  
その際、所得税がいくらだったのか、ジョブカードに記載する。  
また、アルバイト代を支払ったら、ジョブカードの「確認欄」にハンコをおす。

### □ 宝くじの実施

- ・1枚40ミ\$ の宝くじ券を販売する。

### □ アンケート記入特典のお渡し

- ・区役所で配布しているアンケートにお答えしてくれた方に対して5ミ\$ を渡す。

〈確認方法〉

区民証の表にミドリンのスタンプが押してあるかどうか

→5ミ\$ 渡したら、○を付けて分かるようにする



## ■ 概要

- ・アルバイトを希望している参加者に希望の「職場」を紹介と募集と求人管理。
- ・希望者に該当する「職場」の「ジョブストラップ」を渡し、アルバイト先に向かってもらう。
- ・アルバイト終了後「ジョブストラップ」は、銀行付近にある返却BOXに必ず返却してもらう。  
随時BOXを確認し、「ジョブストラップ」を回収する。

## ■ 人員体制

セレスポスタッフ・・・4名

## ■ 業務内容

【ジョブボード（アルバイト求人チラシ貼り出しの管理）】

- ・ホワイトボードへの募集チラシの貼付管理（募集チラシは各職場で作成済）
- ・定員になったら募集チラシは一時的にはがす。
- ・イレギュラーとして当日発生した募集のアルバイトについては、所定事項を記入してもらい、ジョブボードに掲出。

<記入所定事項>

- ①店名
- ②アルバイト内容
- ③アルバイト時間
- ④アルバイト代
- ⑤アルバイト人数

【ジョブストラップ】

- ・アルバイトを行う参加者には必ず渡し、アルバイト中は着用してもらってください。  
また、アルバイト終了後は必ず銀行付近の返却BOXへの返却を周知して下さい。

【アルバイト求人チラシ（募集の終了）の収納】

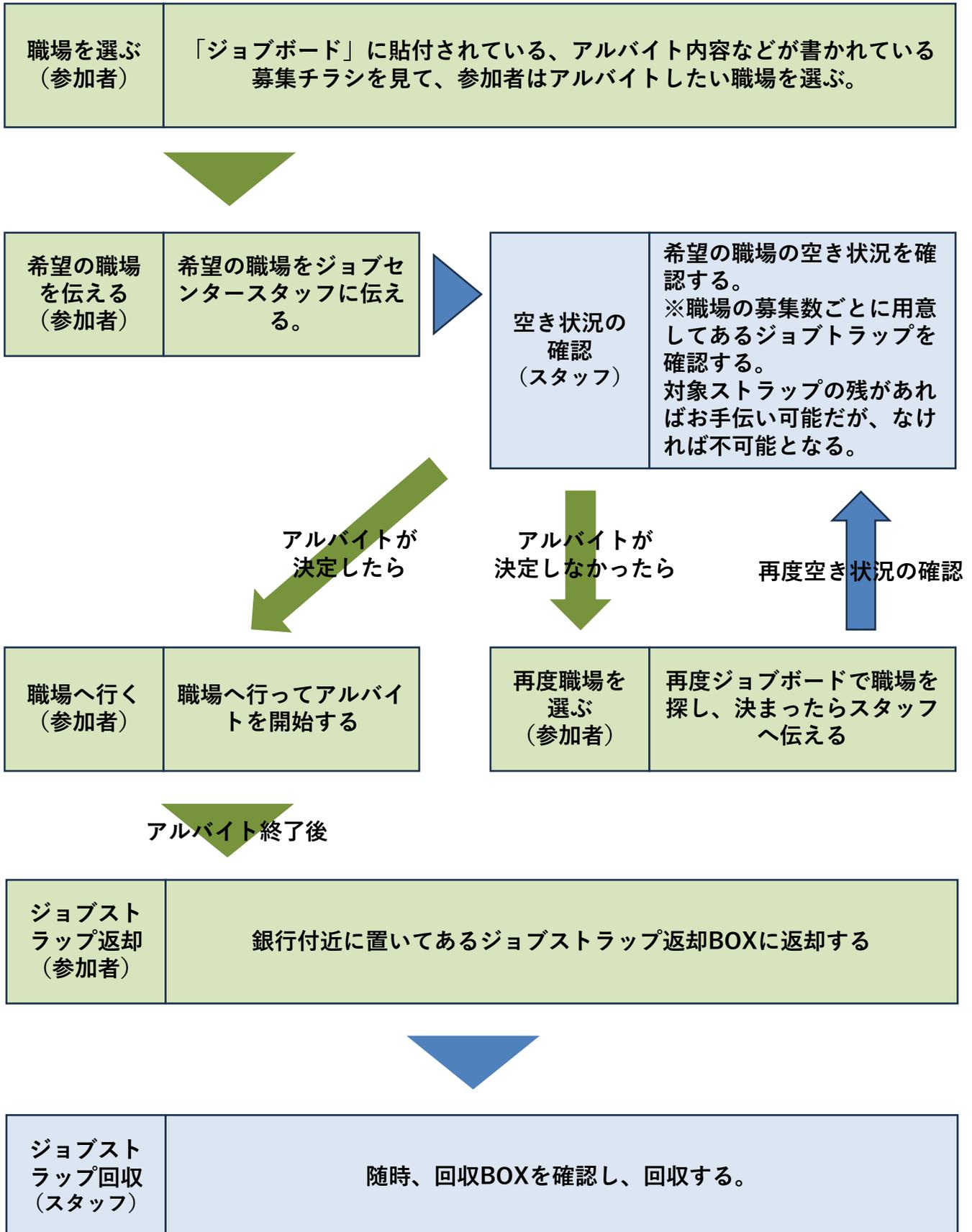
- ・イベント終了20分前になったら、募集チラシの貼ってるボードは裏返してください。  
募集を終了します。

※イレギュラー対応※

7班区役所の「アンケート調査アルバイト」は、  
第1部10時～、第2部14時～の掲示とする。



## ■参加フロー



## ■ 概要

- 税金が納税された額によって、「子どものまち」が変化していくことを下記のグラフにて可視化 及び 公会堂内アナウンスで周知する  
※実際にイベント内で変化するわけではなく、変化した仮定とする。

## ■ 人員体制

- 説明……………学校
- グラフの管理……銀行・税務署
- アナウンス……………区役所

## ■ 業務内容

### 【説明】

- 学校の最初のルール説明中に、税金が集まると「子どものまち」が変化し、より良くなるという旨を説明する

### 【グラフの管理】

- 集まった税金100ミ\$ごとに、グラフに色を塗り、「タッセイ」のフラッグを貼る。

### 【アナウンス】

- 100ミ\$ごとに、ステージ上のマイクを使って、集まった税金額と達成した項目を発表する。

## 午前用



## 午後用



## 旗



## ■ 東洋英和女学院大学

- ・ブースタイトル 東洋英和女学院大学 「竹を使った工作教室」
- ・実施場所 公会堂3階 会議室
- ・実施内容 竹を素材としたワークショップを実施



## ■ 村田製作所

- ・ブースタイトル 「電子工作教室」
- ・実施場所 公会堂3階 会議室
- ・実施内容 太陽光で動くオルゴールを製作できるワークショップ等を実施



## ■フジッコNEWデリカ

- ・ブースタイトル 「豆つかみゲーム」
- ・実施場所 公会堂3階 会議室
- ・実施内容 お箸で豆をいくつ移動することが出来るかを競うゲームを実施



## ■横浜銀行

- ・ブースタイトル 「お金クイズ」
- ・実施場所 公会堂2階 受付横
- ・実施内容 お金に関するクイズをタブレットで実施



## ■ 入場・受付



## ■ 1班 ミニミニSDGs学校



## ■ ジョブセンター



## ■ 2班 にぎやか銀行・税務署



## ■ 3班 子供警察署



## ■ 4班 緑交通局



## ■ 5班 キラキラ雑貨店



## ■ 6班 ひといきカフェ



## ■ 7班 ミニミニ区役所SDGs課



## ■ 8班 みどりゲームセンター



## ■ 会場内風景



## ■ 実行委員取組展示ブース



## ■ 山中横浜市長視察



## ■ 終了挨拶・集合写真



## □ 当日配布パンフレット

■ Mini Mini Midori A3デザイン 420x297 表画



### 子どものまちづくりイベント!

# Mini Mini Midori プラスSDGs

## 五反田駅

本日は横浜市緑区主催の「Mini Mini Midori プラスSDGs」にご来場いただきまして誠にありがとうございます。

当日イベントは、参加する子どもたちがまちをつくり、楽しむイベントとなっております。「子どもたちのまち」への入場にあたっては、大人の方の入場を一部制限させていただきます。

大人の方は以下の事項をご確認の上、イベントをご観覧ください。

#### 観覧及び通行ルール

会場内は「子どもたちのまち」と「観覧席(大人)」に区分されています。  
また大人が入場できる場所や通行できる通路についても区分されています。

- 観覧は観覧席までご利用ください。
- イベント開始時の移動・乗降は観覧の会場MAPを参考にしてください。(緊急時は規制を解除します)

#### 注意事項

【観覧席(大人エリア)ご利用のお願い】

- 観覧席は飲食禁止です。食事等は観覧席前から出た休憩エリア(3階ホワイエ)や通廊等の椅子をご利用ください。

【その他のお願い】

- ご自身、ご自身のお持ち物にしてください。
- 観覧席は写真・動画等をSNSなどに公開する場合は肖像権を侵害する恐れがあることから充分配慮の上お願いします。
- 撮影した写真等でのトラブルに関して、主催者は責任を負いかねます。
- 送子や送し物は2階「受付」でお預かりします。
- 3階ホワイエは休憩エリアを確保しております。具合が悪い方は休憩場所としてご利用ください。

また、会場内の設備(トイレや授乳室など)は自由にご利用ください。

主催 横浜市緑区 協力 東洋英和女学院大学、株式会社付田製作所、フジッコNEWデリカ株式会社 横浜事業部、株式会社横浜銀行 中山支店、緑警視庁

■ Mini Mini Midori A3デザイン 420x297 裏画

### お店ごとの取組について

子ども実行委員による「Mini Mini Midori プラスSDGs」内の職業では、「なぜその職業がまちに必要なのか」、「どのSDGs目標に貢献できるのか」、「貢献するには何が必要なのか」の3点を考え、実行できるよりに上げてきました。子ども実行委員がどのような目的をもって、商品やサービスを提供しているのかを想っていたら、ご来場の皆様にもSDGsを取り組むきっかけにしていただければと思います。

①なぜまちに必要なのか ②どのSDGs目標に貢献できるのか ③貢献するには何が必要か

#### 1階 ミニミニSDGs学校

① 将来の生活のため、一人ひとりが勉強し、お互いが成長しあうための必要

② SDGsとは何かを伝えることで、SDGsへの意識を高め、貢献できるようにする

- SDGsを始めたスタンプラリーを実施することで、より楽しく学べるようにする

#### 2階 にややか銀行・税務署

① 生活を営むのに大事なお金を貯ける場所だから

② 銀行

- きんごとお金を往來する
- もらったお金を管理する
- 良い見本を見せる

#### 3階 子供警察署

① 国や県の平和を守るために、悪い人を捕まえる、困っている人を助けるため

② パトロールをする

- ごみ拾いをする
- 送子、送し物を預かる

#### 4階 緑交通局

① 公共交通機関はみんなの移動を便利にするから必要

② まちとまちをつなぐための必要

- なるべく少ない材料で車両を作り、乗客を利用する
- 力の中で電機、電力を使わないようにする

#### 5階 キラキラ雑貨店

① みんなを笑顔にするため

② 無料で借りられるものを作る

- 不要になったものを売った雑貨を作る

#### 6階 ひといきカフェ

① 業にご来店がめがねられるため必要

② 写真がけがめがね

- リサイクルできるものをつかう(パップ・スプーンなど)
- 食べられる服、飲み切れる服を提供する
- 衛生に気を付ける

#### 7階 ミニミニ区役所 SDGs課

① 子育てでやさしい環境だから

② 財源を証明する

- 困った人がいたら、その人に合ったサービスを提供する
- まちの未来を語る

#### 8階 みどりゲームセンター

① みんなが楽しめて、ストレスがなくなるから必要

② 安心してお客さんを楽し山登山

- 年齢によって難しさを変え、全ての人が楽しんでもらう

### 商品・サービス紹介

#### 1階 ミニミニSDGs学校

##### サービス内容

- 子どものまちの説明(授業)
- SDGsスタンプラリー
- 休憩所の運営

#### 2階 にややか銀行・税務署

##### サービス内容

- アルバイト給料の支払い
- 税金の管理
- 宝くじ

#### 3階 子供警察署

##### サービス内容

- パトロール
- ごみ拾い
- 送子、落とし物を預かる

#### 4階 緑交通局

##### サービス内容

- 路線図の販売
- 「子どもたちのまち」を回るバスの乗車券

#### 5階 キラキラ雑貨店

##### 商品内容

貝殻のプレスレット、ネックレス	30円
キャンディリボンヘアピン	10円
くじ引き	10円
うちわ	15円
ワークショップ(水の中へスルードーなど)	20円

#### 6階 ひといきカフェ

##### 商品内容

ジュース各種	30円
お菓子(アム・ガムなど)	種類により異なる
遊び道具	種類により異なる

#### 7階 ミニミニ区役所 SDGs課

##### サービス内容

- 届出登録証明の発行
- SDGsコンシェルジュ
- ミニSDGsパンフレットの配布
- アルバイト用の名刺発行

#### 8階 みどりゲームセンター

##### 商品内容

お菓子フリ	20円
射的	15円
ガチャ	10円
くじ引き	10円
ファミコン	30円

※商品の数には限りがございます。また金額(円)は変更となる場合がございます。

# VI.製作物

□ミ\$ 2班（銀行・税務署）にてデザインを作成しました。



□区民証・ジョブカード・ジョブストラップ



## □ サインデザイン

■ ステージタイトル看板 (紙出力) W4500xH600 ※20倍出力



■ 入口タイトル看板 (紙出力) W900xH1800 ※10倍出力

子どものまちづくりイベント!  
Mini Mini Midori プラスSDGs

### イベント会場 入口

**午前の部** 受付開始 9:15 ▶ 9:45  
イベント開催 9:30 ▶ 12:30

**午後の部** 受付開始 13:15 ▶ 13:45  
イベント開催 13:30 ▶ 16:30

※当イベントへの参加は事前申込みとなります  
※会場内は、一部大人の方の通行が制限されています

●公会堂のエントランスにある受付で参加の確認を行ってください  
●お申込み以外の時間帯への参加はできません

**主催** 横浜市緑区  
**協力** 東洋英和女学院大学、株式会社村田製作所、フジッコ NEW デリカ株式会社 横浜事業部、株式会社横浜銀行 中山支店、緑警署

■ 会場外誘導立看板 W900xH1800 ※10倍出力

子どものまちづくりイベント!  
Mini Mini Midori プラスSDGs

### イベント会場 (緑公会堂2階)

●階段またはエレベータで  
2階入口から入場してください

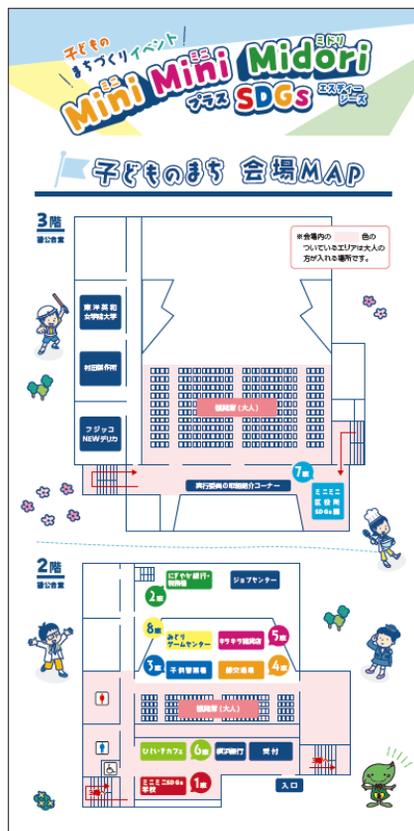
**午前の部** 9:30 ▶ 12:30  
(受付 9:15 ▶ 9:45)

**午後の部** 13:30 ▶ 16:30  
(受付 13:15 ▶ 13:45)

※当イベントへの参加は事前申込みとなります  
※会場内は、一部大人の方の通行が制限されています

**主催** 横浜市緑区  
**協力** 東洋英和女学院大学、株式会社村田製作所、フジッコ NEW デリカ株式会社 横浜事業部、株式会社横浜銀行 中山支店、緑警署

■ 会場案内図立看板 W900xH1800 ※10倍出力



■ 誘導 (ステレン) W450xH450 ※10倍出力

子どものまちづくりイベント!  
Mini Mini Midori プラスSDGs

ここから先は  
大人は  
入れません

x2

子どものまちづくりイベント!  
Mini Mini Midori プラスSDGs

入退場口

※会場内は大人の通行制限がございます

x2

子どものまちづくりイベント!  
Mini Mini Midori プラスSDGs

お帰りの際は、  
余ったミ\$をこちらに  
ご返却ください

子どものまちづくりイベント!  
Mini Mini Midori プラスSDGs

銀行・税務署  
並び列

子どものまちづくりイベント!  
Mini Mini Midori プラスSDGs

3Fへ

子どものまちづくりイベント!  
Mini Mini Midori プラスSDGs

2Fへ

子どものまちづくりイベント!  
Mini Mini Midori プラスSDGs

実行委員会  
取組紹介  
コーナー

子どものまちづくりイベント!  
Mini Mini Midori プラスSDGs

ジョブセンター  
並び列

# VI.製作物

## □ サインデザイン

■店舗看板(スチレン) W1200xH600 各1枚 計9枚 ※15倍出力



■A3(紙出力) 企業ワークショップ ※10倍出力

■受付(スチレン) W600xH600 ※10倍出力



# VII. アンケート

## □ 大人アンケート結果

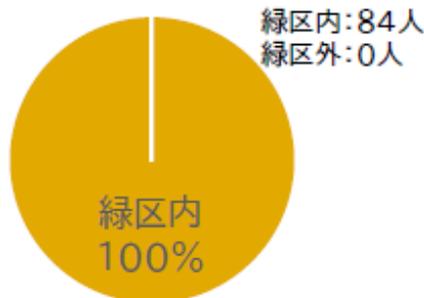
### ■ 回答者数

1回目:49人

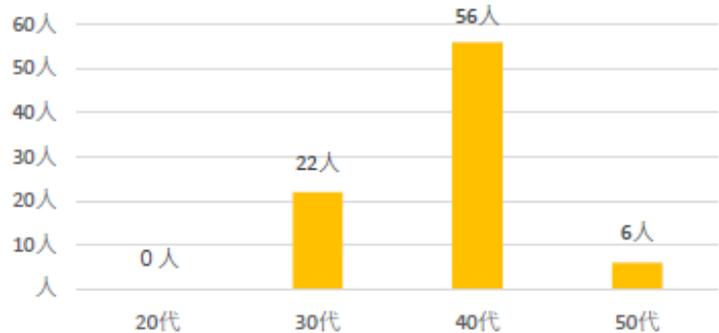
2回目:35人

合計:84人

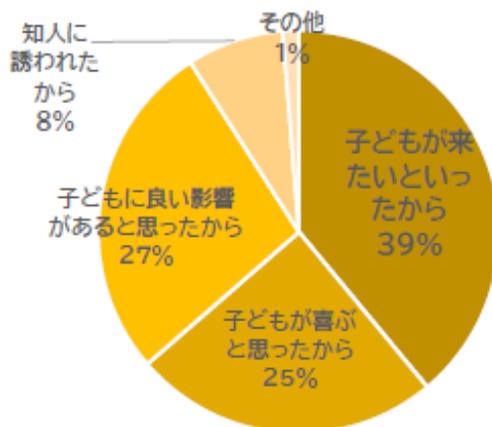
### 1 お住まいについて



### 2 年代について



### 3 子どもを参加させたいと思った理由を教えてください



子どもが来たいと思ったから:30人  
子どもが喜ぶと思ったから:19人  
子どもに良い影響があると思ったから:21人  
知人に誘われたから:6人  
無効票:1人

### 4 イベントの良かった点を教えてください(抜粋)

- ・子どもたちの自主的な行動力につながると思いました
- ・子どもたちが仕事をして、その対価で遊んだり食べたりできる場所
- ・子どもが楽しんでいること
- ・子供が積極的にまちづくりに関わった点
- ・様々な仕事に就ける体験ができたこと
- ・親と子どもが離れてイベントに参加すること
- ・SDGsを取り入れた点
- ・子どもだけで運営をしている
- ・社会の仕組みを遊びながら学べる点
- ・昨年よりスッキリ効率良い印象
- ・大企業、自治体が協力しているところ
- ・子ども主体のイベントなので、自主的に動く姿が見られる
- ・本物の警察官がいて、ベストを着れた
- ・教えてくれる人も子どもでやさしく丁寧でした
- ・知らない子ども友達になれる

# VII. アンケート

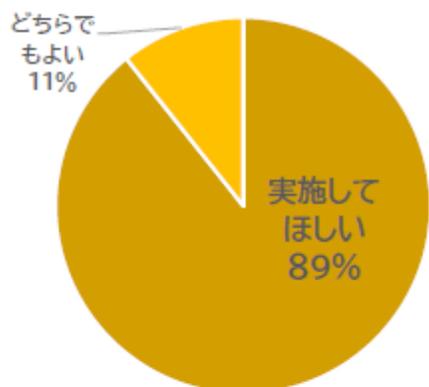
## □ 大人アンケート結果

### 5 イベントの改善点があれば教えてください(抜粋)

- ・人数が多かったので、ジョブセンターの列が長かった
- ・ジョブセンターで並ぶ列が長い、仕事をあらかじめ並んでいる間に決められるシステムが必要
- ・ジョブセンターで並ぶ列が長く、2か所あってもよいと感じた
- ・大人が子どもの様子を見られる範囲を広げてほしい
- ・困っている子への声かけ等、もっと柔軟に動いてほしい。アナウンス等でもっと回してほしい
- ・親から見て、イベントの流れが分かりにくい(子どもの動線が分からない)
- ・初めて参加したのでよく分からないことが多かった
- ・モニターに、大人が入れない場所を映してほしいです
- ・仕事に「福祉」があってもよいかと思いました
- ・持ちものに、リュック等を書いていただけたら・・・
- ・3階へ行く道順が地図だけでは分かりづらそうだった
- ・首に付ける紐が細くてあぶない
- ・子どもにとってやりたい仕事が少ない
- ・地図などよめないなので、各フロアがわかりやすいとよい

### 6-1 来年も「Mini Mini Midori プラスSDGs」を実施してほしいと思いますか

実施してほしい:75人  
どちらでもよい:9人  
実施してほしくない:0人



### 6-2 来年も「Mini Mini Midori プラスSDGs」を実施してほしいと思いますか(理由・抜粋)

#### ●「実施してほしい」の理由

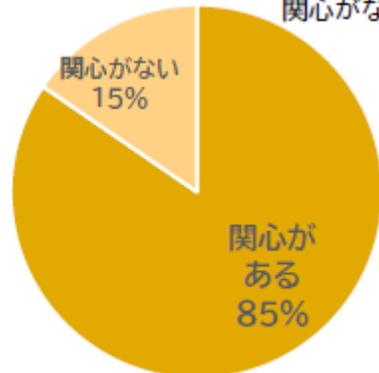
- ・子どもたちがいきいきとしていた
- ・昨年(前回)のことを思いだしてステップアップした活動をしてくれたから
- ・学年が上がることに学ぶ部分も広がると思うので
- ・社会を学ぶのにいい
- ・自立心を育てられるイベントは貴重だから
- ・昨年も参加していて、今年も行きたい！と子どもが話していた
- ・慣れるともっと考えが深まりそう
- ・一年成長した姿をまた見てみたい
- ・夏休みの楽しい思い出になるから

#### ●「どちらでもよい」の理由

- ・大人の感想を聞けていないから
- ・改善点が多すぎる。ただ、子どもたちには良い経験になると思う

### 7 あなたは、脱炭素につながる取り組みについて関心がありますか

関心がある:71人  
関心がない:13人



### 8 あなたは普段の生活の中で、脱炭素につながる行動に取り組んでいますか

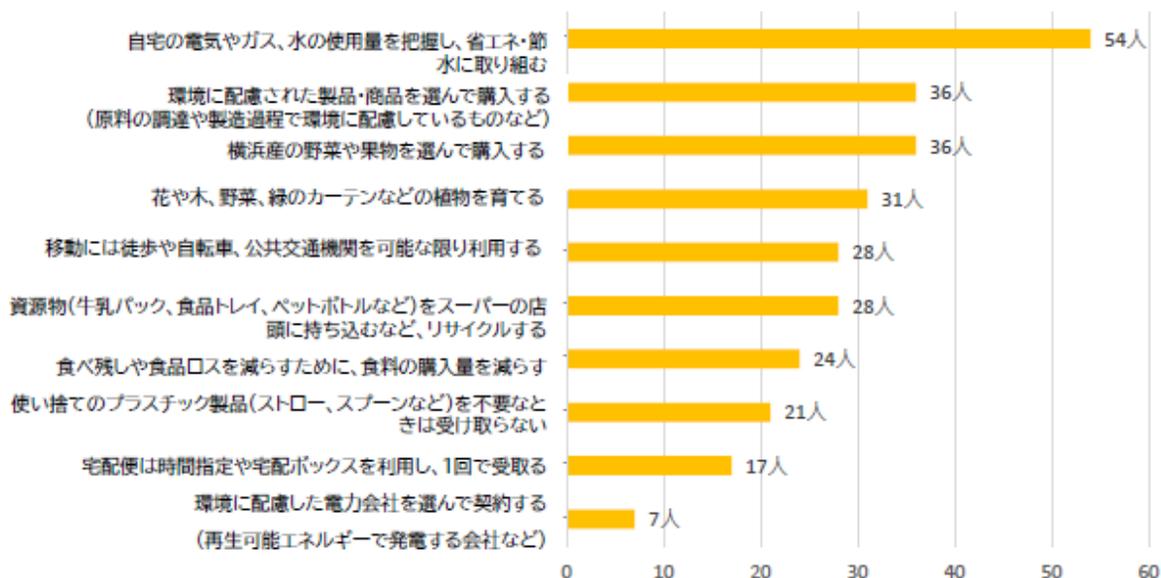
取り組んでいる:49人  
取り組んでいないが、今後取り組んでいきたい:32人  
取り組んでいないし、今後も取り組むつもりはない:2人  
取り組んでいないが、今後取り組むつもりはない:2人  
無回答:1人



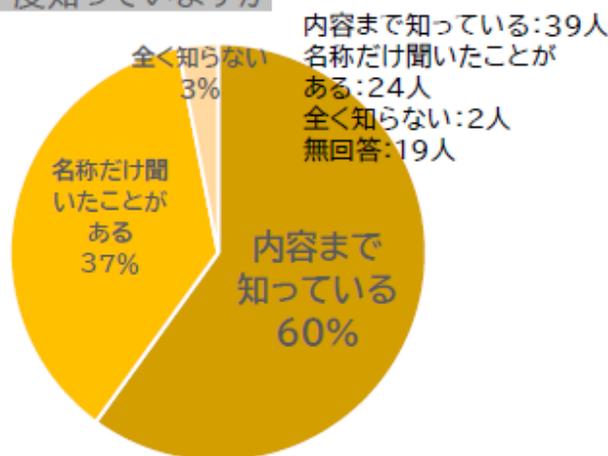
# VII. アンケート

## □ 大人アンケート結果

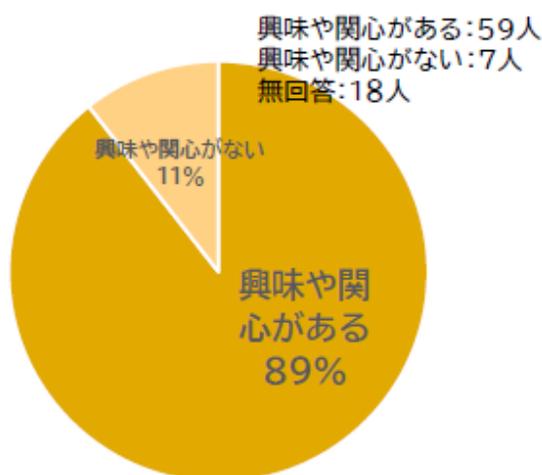
9 あなたが普段の生活の中で取り組んでいる脱炭素につながる行動について、当てはまる番号に丸をつけてください(複数回答可)



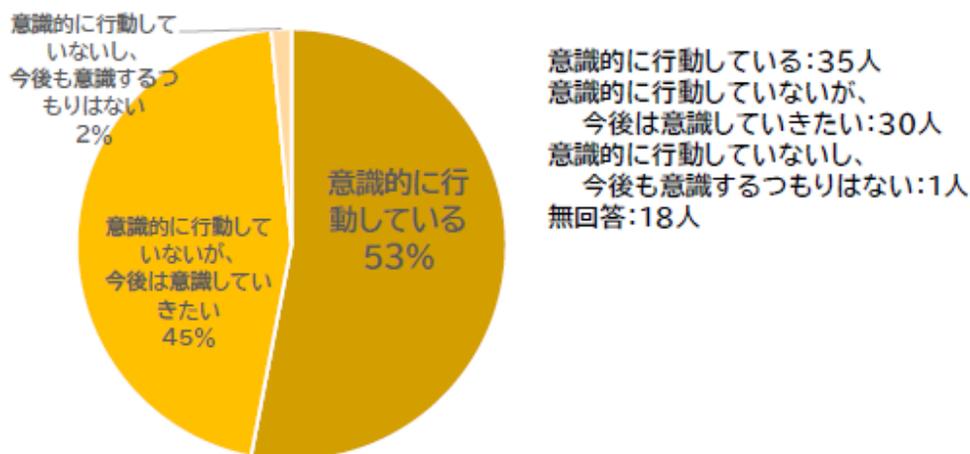
10 あなたはSDGs(エスディーゼーズ)(持続可能な開発目標)についてどの程度知っていますか



11 あなたは、SDGsに興味や関心がありますか



12 あなたは普段の生活の中で、SDGsの目標達成に向けて意識的に行動していますか



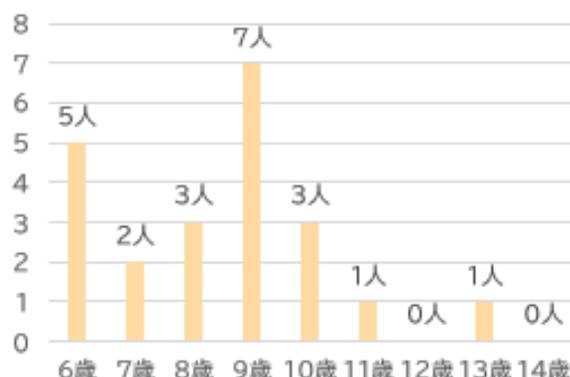
# Ⅶ.アンケート

## □子どもアンケート結果

### ■回答者人数

1回目:5人  
2回目:17人  
合計:22人

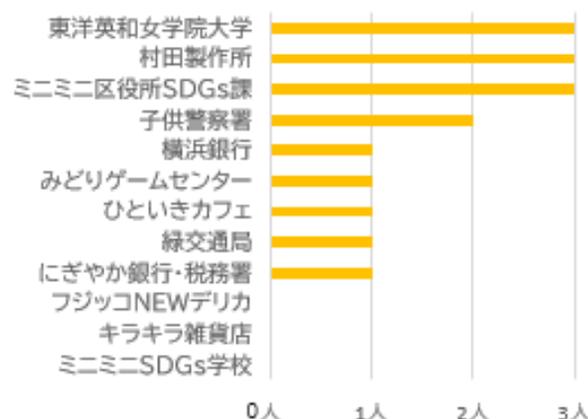
### 1 あなたは何歳ですか



### 2 来年もミニミニミドリプラス SDGsに参加したいですか



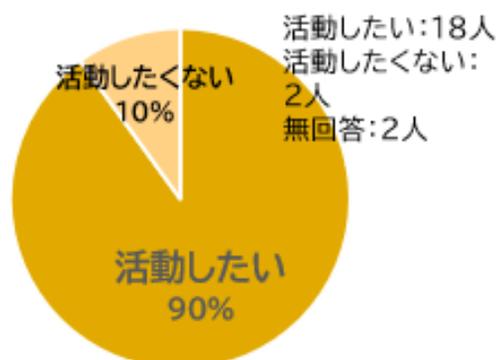
### 3-1 面白かったお仕事を教えてください



### 3-2 面白かったお仕事を教えてください (理由・抜粋)

- ・パンフレット渡し、みんながもらって  
くれるから
- ・詳しく教えてくれた
- ・オルゴールや掃除が楽しかった
- ・オルゴールを作れたから
- ・クイズが楽しい
- ・ごみ当番
- ・オルゴール
- ・竹をつるつるにするところ
- ・木を削る仕事
- ・とても楽しいから

### 4-1 将来みんなが住むまちをよくするた めの活動をしたいですか



### 4-2 理由を教えてください(抜粋)

- ・みんなが住めるようにしたいから
- ・ごみひろいやプラスチックをつかわない
- ・住みやすいと楽しくなるから
- ・みんなが笑顔になるから
- ・中山のまちがきれいになってほしいから
- ・もっと平和な世界をつくりたいから
- ・みんなのために役に立ちたい
- ・助けたい
- ・活躍したいと思っているから
- ・誰もが貧困に困らないようにしたい

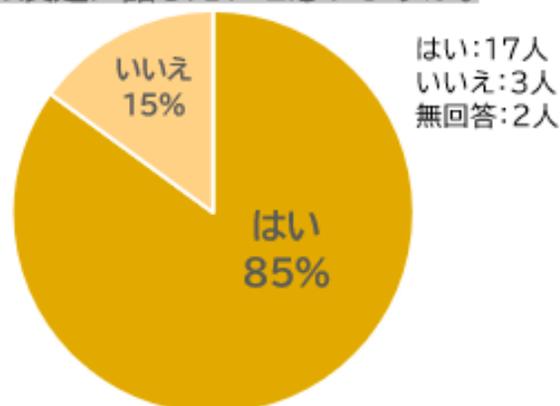
# VII. アンケート

## □ 子どもアンケート結果

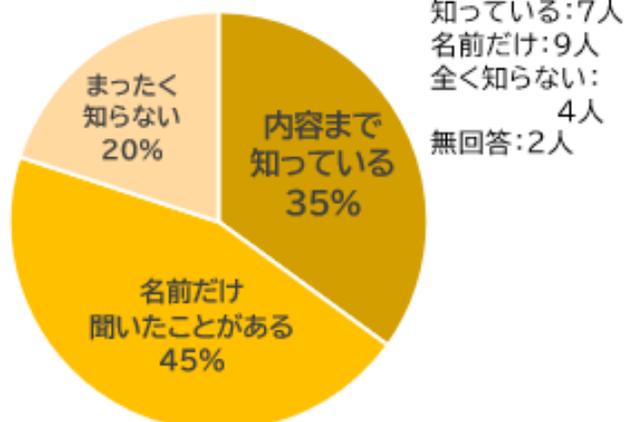
### 5 将来の夢やあこがれるお仕事があれば教えてください(抜粋)

警察官、アイドル、ケーキ屋さん、鉄道の運転士、教師、看護師、まめつかみゲーム、鉱物科学者、宇宙飛行士、デザイナー・食べ物屋、声優、漫画家、幼稚園の先生、歌手

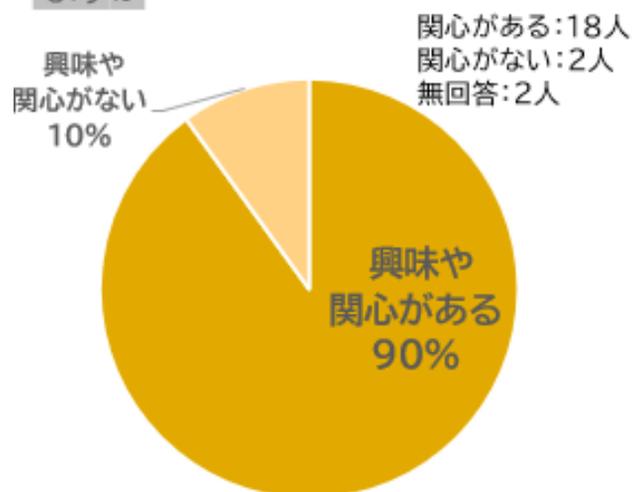
### 6 今日のイベントで感じたことや学んだことをお父さん、お母さん、近所の人、お友達に話したいと思いますか。



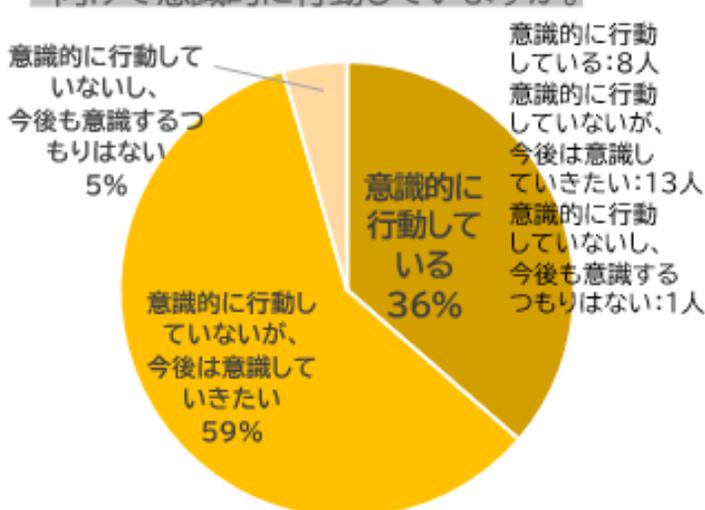
### 7 あなたはSDGs(持続可能な開発目標)についてどのくらい知っていますか



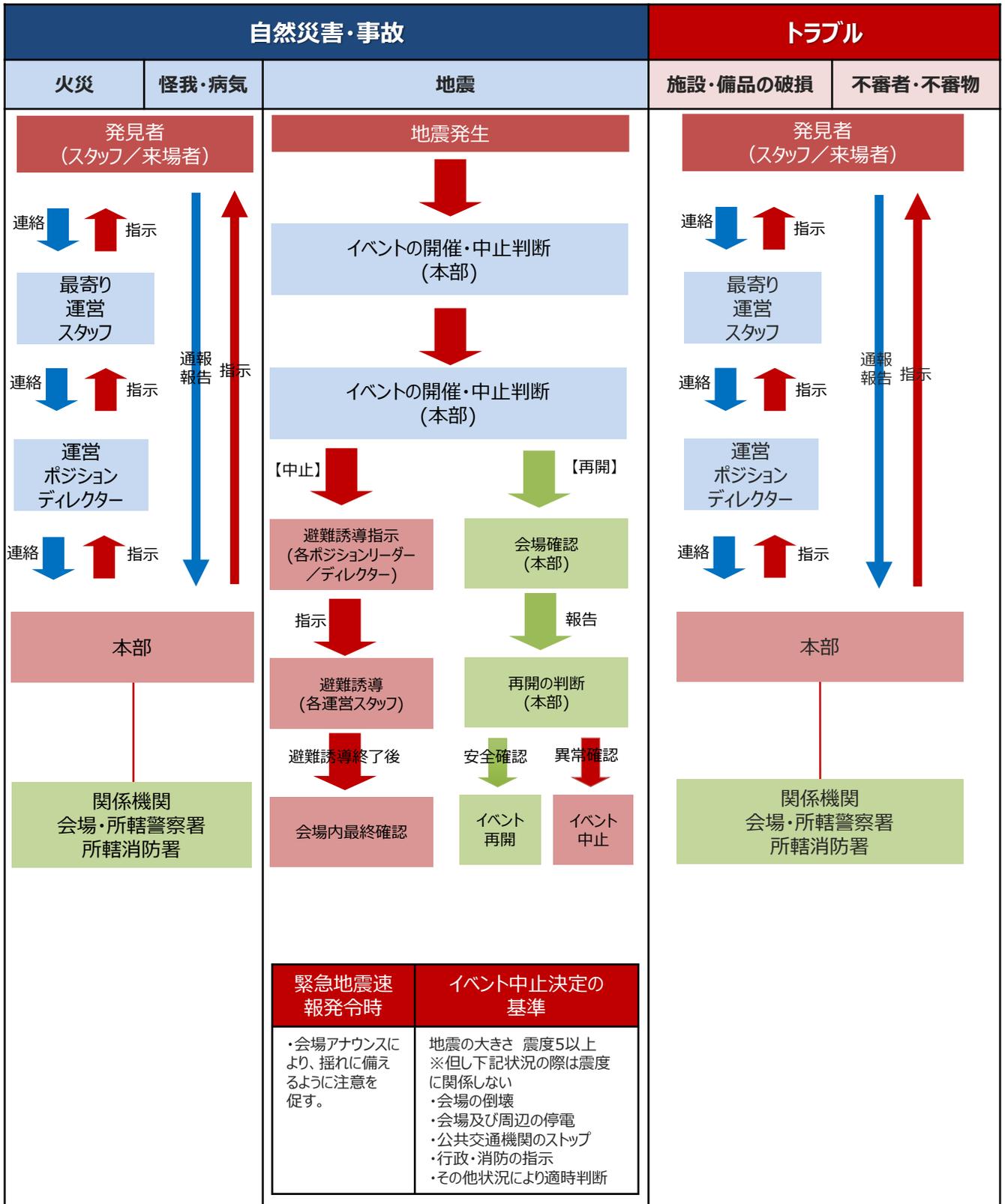
### 8 あなたはSDGsに興味や関心がありますか



### 9 あなたは普段、SDGsの目標達成に向けて意識的に行動していますか。



## □ 緊急時連絡・指示系統



## □ 避難誘導に関する基本要領

● 避難誘導の実施

各スタッフは、担当するエリアにおける火災などの危機事案が発生した場合に自らのエリア外への避難誘導を実施する。

また、協力要請がある場合、または緊急事態で応援の必要がある場合には、担当エリア外において避難誘導を実施する。

● 避難誘導の種別

避難の種別は部分避難および全体避難とする。

## ① 部分避難

会場などの一部で危機事案が発生し避難誘導を必要とする場合には、運営本部の指示のもと避難所への誘導を行う。

原則として会場、諸室で危機事案が発生した場合、会場内の所定の位置に避難させた後、会場外へ避難誘導を行う。

## ② 全体避難

会場全体の避難を必要とする場合には、運営本部の指示により一時的に会場内の所定の場所に避難させた後、会場外へ避難誘導を行う。

● 避難誘導の方法

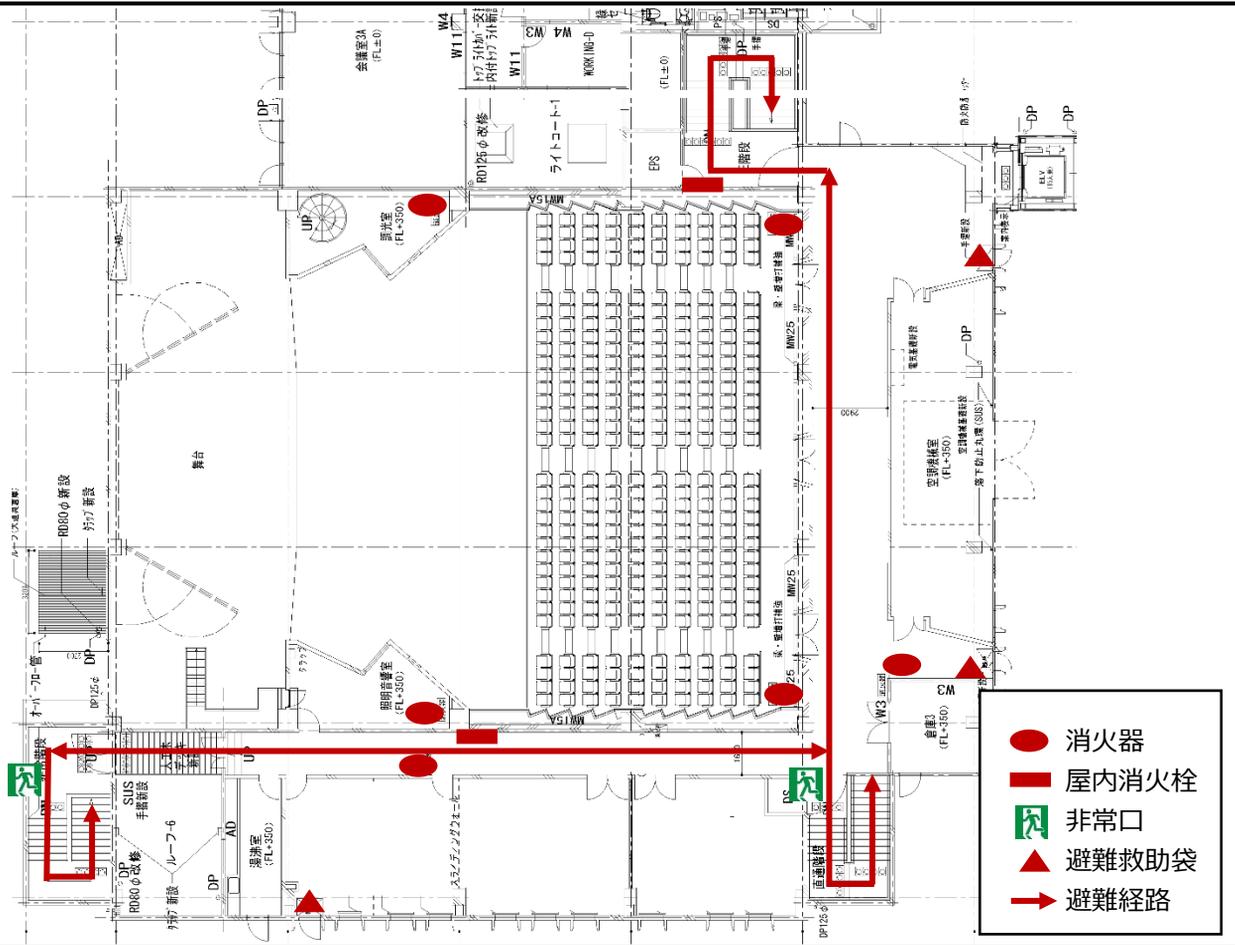
- ① 危機事案が発生した場合、運営本部より避難場所、避難経路の指示を受ける。
- ② スタッフは拡声器などを積極的に活用し、避難すべき理由、避難場所、避難経路を広報する。
- ③ スタッフを避難の際に雑踏が想定される階段などに配置し、群衆雪崩などの雑踏事故が発生しないように警戒する。
- ④ スタッフは運営本部からの指示を聞き行動するだけでなく、積極的に周囲の状況を運営本部に報告する。状況の変化があった場合逐次報告する。
- ⑤ 担当エリアの避難完了を確認の上運営本部へ報告を行い、まだ避難の済んでいないエリアの応援にあたる。

● 避難誘導実施時の留意事項

- ① 避難誘導にあたっては人命の安全確保を第一として行動する。
- ② 危機事案発生現場付近を最優先に避難誘導を行う。
- ③ 広報活動を行うスタッフも声に焦りや緊張感、声の裏返りなどがあると、来場者は危険が身近に迫っているかのように誤解し、予期せぬ行動をとる。そのため広報を行う際は—
  - i 冷静な音声と通常の速さで広報を行う。
  - ii 現在の状況を明確に伝える。
  - iii わかりやすい言葉を使う。
  - iv 短文でくり返し行う。
  - v 避難誘導を行う際は、現在地からの具体的な方向、経路などを伝える。

## □ 避難経路

3F



2F

